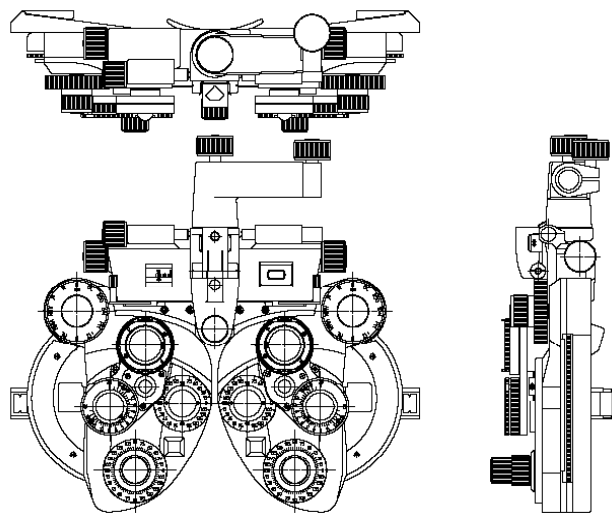


機械器具22 検眼用器具

一般医療機器 レフラクタ JMDN35299000

サイトテスター M-AE1

【形状、構造及び原理等】



1. 構成

- ①本体
- ②頬当て
- ③近点スケール棒
- ④近点カードホルダー
- ⑤ロータリー式近点カード
- ⑥ダストカバー
- ⑦抜け止め用ネジ
- ⑧アタッチメントレンズケース
- ⑨取扱説明書
- ⑩添付文書
- ⑪C -0.12D付属レンズ
- ⑫C -2.00D付属レンズ

2. 体に接触する部分の組成

額あて : アクリロニトリルブタジエンスチレン
頬当て : アクリロニトリルブタジエンスチレン

3. 寸法及び質量

寸法 345mm(W)×96(L)×293mm(H)
質量 4.5kg

4. 動作原理

被検者は額当て側から検眼窓を覗き込み、本機を通して視力表を見る。検者は操作側から球面レンズ、補助レンズ、乱視レンズ、ロータリープリズム及びクロスシリンダを操作し、眼の球面屈折力、乱視(円柱)屈折力、乱視軸、プリズム屈折力等を測定する。

【使用目的、効能又は効果】

眼の屈折状態を測定する。

【品目仕様等】

測定範囲

球面屈折力	0～+16.75D 0.25Dステップ 0～-19D 0.25Dステップ (内蔵補助レンズ併用で0.12D間隔)
乱視屈折力	0～-6D 0.25Dステップ (-2Dレンズ使用で-8Dまで0.25D間隔) (-0.12Dレンズ使用で0.12D間隔)
乱視軸	0～180° 5°ステップ表示 1°までの判読可能
プリズム屈折力	0～20Δ 1Δステップ又は連続 両眼のプリズム屈折力の合成値は 30Δ以上
プリズム基底	0～360° 5°ステップ表示 1°までの判読可能

構造及び機能

レンズ最小有効径	16mm (6Δ以上のプリズムは最小11mm)
角膜頂点設定位置	12～18mm表示 (2mm間隔の目盛)
瞳孔間距離調節範囲	48～75mm
額当て調節範囲	15mm

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用方法

- (1) 本機を取付け、水平調整ノブで水平にする。
- (2) 両眼の球面度数、乱視度数をゼロにする。
- (3) 瞳孔間距離を合わせ、被検者に装着させ、角膜頂点距離を定める。
- (4) 被検者の応答により、レンズを交換操作し、球面屈折力、乱視(円柱)屈折力、乱視軸、プリズム屈折力等を測定する。

2. 使用環境

温度範囲	+10℃～+35℃
湿度範囲	30%～75%
気圧範囲	800hPaから1060hPa

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
精密部品が多数使用されているため、強い振動を与えないこと。
2. その他の注意事項
取付に際して、本機が落下することのないよう、しっかりと取付けること。
3. 廃棄
装置を廃棄する場合は、廃棄、リサイクルに関する自治体の条例に従うこと。

【貯蔵・保管方法】

1. 保管環境条件

温度範囲	-10℃～+55℃
湿度範囲	10%～95%
気圧範囲	700hPaから1060hPa
2. 貯蔵・保管
 - (1) 気圧・温度・湿度・風通し・日光・ほこり・塩分等を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのない場所、及び水のかからない場所に、納入時の包装状態で保管すること。
 - (2) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場等には保管しないこと。
3. 製品の有効期間又は使用期限
正規の保守点検を行った場合に限り、納入されたときから8年間（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

- (1) レンズ類の「ほこり」や「指紋」の点検
ほこり等は毛筆又はエアブラシで払うこと。
指紋・油類はレンズクリーニングペーパー又は洗い晒したきれいなガーゼ等にアルコールとエーテルの混合液を軽く付けて拭き取ること。
- (2) 額当て・頬当ての消毒
額当て・頬当ての消毒をする場合はオキシドールを使用すること。
- (3) 本体が汚れた場合の処理
カラ拭きを行うこと。汚れのひどい時は、少量の水か中性洗剤を使って拭くこと。シンナー等の有機溶剤は使用しないこと。

【包装】

発砲スチロール及び、ダンボールによる梱包 一台単位

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元	株式会社 東和
住所	長野県中野市中野1698-2
電話番号	0269-22-5181
製造元	株式会社 東和